

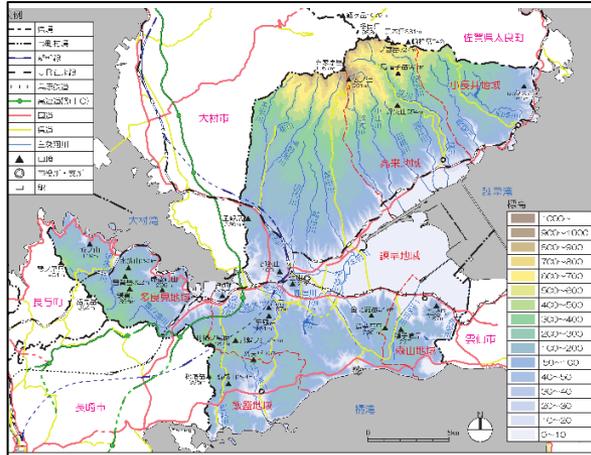
諫早市文化財保存活用地域計画【長崎県】

【計画期間】令和7年～11年度（5年間）

【面積】341.79Km²

【人口】約13万人

【日本遺産】「砂糖を
広めた長崎街道～
シュガーロード～」
令和2年度



歴史文化の特徴

1. 多良岳の火山活動から生まれた独特の地形

多良岳は成層火山の特徴を持ち、雄大な裾野をもつ形が良い山で、裾野に連なる台地は、有明海、橘湾、大村湾の三つの海に面して、独特の地形を形成する。

2. 3つの海と多良岳が育んだ人々の生活

特徴の異なる3つの海の沿岸で、それぞれの海の特徴をもつ遺跡が多くあり、当時の人々の豊かな生活や交流を知ることができる。大村湾沿岸の伊木力遺跡、有明海沿岸の西常盤貝塚、橘湾沿岸の有喜貝塚は長崎県の縄文時代を代表する遺跡である。

3. 諫早の自然を特徴づける暖温帯の植生

本明川河口に縄文時代からの植生を色濃く残す暖温帯の植生が良好に保存される「諫早市城山暖地性樹叢」があり人々の心を安らかにする自然林の役割を持つ。

4. 交通の結節点で発達した古代・中世の伊佐早

3つの海による海路と2つの半島につながる陸路を利用し、弥生時代から戦国時代まで様々な人や物が行き交い、多くの遺跡が遺された。

5. 長崎街道と多良海道・島原街道を通じて人や物が行き来した江戸時代の諫早

江戸時代の街道は永昌宿を分岐点とし、長崎、大村藩、鹿島藩（佐賀支藩）、島原藩への交通網が四方に広がった。多くの人・物・情報が街道沿いの諫早を行き来した。

6. 平安時代から伝わる荘厳な日本古来の信仰

多良岳山頂にあり古くから信仰を集めた金泉寺をはじめ、裾野にある社寺は、日本古来の信仰の姿を色濃く残し、現在も信仰が継続している。また、キリシタン大名に囲まれながらも古来からの信仰が破壊されなかったことも特徴の1つである。

7. 本明川の水害と刻まれた記憶

多良岳を源流とし、急峻な山麓を南下し下流で東へ向きを変え有明海に注ぐ本明川はたびたび氾濫し、水害の記録が多く、川沿いの社寺等はその記憶を伝えたのである。

8. 長崎港警備と佐賀藩諫早領、肥前浮立

江戸時代に外交の拠点の1つであった長崎に接するため、常に有事に備える佐賀藩の長崎警備の最前線に諫早領はあった。また、佐賀藩に分布する肥前浮立と呼ばれる民俗芸能が現在も広く継承されている。

指定等文化財件数一覧（令和7年4月1日現在）

区別／種別		国		県	市	計	
		指定・選定	登録	指定	指定		
有形文化財	建造物	1	2	0	13	16	
	美術工芸品	絵画	0	0	0	3	3
		彫刻	0	0	6	5	11
		工芸品	0	0	1	1	2
		書跡・典籍	0	0	0	0	0
		古文書	0	0	0	6	6
		考古資料	0	0	0	0	0
歴史資料	1	0	1	1	3		
無形文化財		0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	3	6	9	
	無形の民俗文化財	0	0	2	1	3	
記念物	遺跡（史跡）	0	0	5	19	24	
	名勝地（名勝）	0	0	0	2	2	
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）	4	0	4	6	14	
文化的景観		0	-	-	-	0	
伝統的建造物群		0	-	-	-	0	
計		6	2	22	63	93	

指定等文化財は93件、未指定文化財は2,220件把握

推進体制

行政	市の文化財の保存と活用を推進する部署 文化振興課、美術・歴史館など
	諫早市文化財保護審議会
市民	市に在住・在勤の人々、文化財と歴史文化に興味を持つ人々
	歴史文化を学習する団体、文化財を保存・顕彰する団体、市が加盟する組織
所有者	文化財の所有者・管理者、またはその団体、伝統芸能等を保存・継承する団体
専門家	大学や国公立の研究機関や博物館等の学術展示研究機関で専門に調査研究を行っている人材や研究団体

文化財の保存と活用により、諫早市が目指す将来像、目標、方針、具体的な取組内容

将来像	1 歴史文化と自然の継承と発展による心豊かなひとづくり				2 文化財を活用した観光振興による交流人口の拡大			
目標	1 歴史文化と自然を適切に保存し、次世代へ継承する		2 身近にある文化財について、市民による価値の再認識を促進する		3 市民に親しまれる資源としての文化財の活用を図る			
課題	調査・保存に関する課題		活用・普及に関する課題			文化財と歴史文化の情報発信に関する課題		
方針	文化財を継続的に調査し公開する		市民に対して身近にある歴史文化の再認識を促す		文化財や歴史文化を市民に情報発信する			
具体的な取組内容の例	No10 国指定文化財保存整備事業 眼鏡橋などの国指定文化財に関する保存・管理及び公開を行う ■ 行政、所有者 ■ R7～11		No52 出張学芸員の学校教育・生涯学習連携事業 出張学芸員と小・中学校、高等学校、大学等の学校教育機関や公民館等の社会教育機関との連携を図り、幅広い世代に諫早の文化財と歴史文化をより身近に感じてもらう場を提供する。提供する学習は、総合学習及び探求の時間に位置付けることができるような内容とするように努める ■ 行政 ■ R7～11			No65 歴史の道観光文化交流推進事業 文化庁選定「歴史の道」百選に選定された長崎街道・多良海道を観光に活かすために、街道歩きなどの体験学習会、多良海道の環境整備などを隣接する佐賀県藤津郡太良町と共同して実施し、市外へ市HPや観光イベントなどを通じてアピールし、市への来訪者の増加へつなげる。 ■ 行政、専門家、市民 ■ R7～11		
	No22 諫早市美術・歴史館管理・運営事業 登録博物館である美術・歴史館の施設管理及びの運営を行い、諫早の美術、歴史、民俗等の周知を図る ■ 行政、所有者、専門家 ■ R7～11		No55 諫早の特色ある埋蔵文化財活用事業 諫早の縄文時代を代表する遺跡である有喜貝塚、伊木力遺跡、西常盤遺跡について発掘調査の成果や出土品を展示し、特色ある縄文時代の歴史を学ぶ体験学習及び講演会等を開催する ■ 行政 ■ R7～11			No73 「千々石清左衛門の墓」公開活用事業 史跡の公開、出土品の公開を目的に、出土品の展示会や考古学研究者・歴史学研究者などによる講演会を開催し、史跡の周知を図る ■ 行政、専門家、所有者 ■ R9～11		
								

諫早市文化財保存活用地域計画【長崎県】

関連文化財群

① 有明海の干満の差と諫早人のいとなみ

諫早は有明海の日本一の干満の差を活かし、近世から現在まで干拓地を広げてきた。長崎県で一番の穀倉地帯となるまでの歴史は、祖先の努力と慈善の精神の賜物である。



② 有明海沿岸及び橘湾沿岸の古墳の被葬者像

有明海と橘湾沿岸には古墳が築造され、地域の首長が葬られている。これらの古墳は稲作などの生活基盤がみられず、有明海の家民集団の首長墓と思われる、6世紀前半に海と関りながら生活していた古墳時代人を知ることができる。



③ 諫早は歴史文化の交差点

平安時代から交通の要衝として交流による歴史文化が継承され、江戸時代には陸路と海路の交差点にあたる本明川に諫早眼鏡橋が架けられた。また、地の利を生かし、それぞれの時代を代表する新しい信仰や技術が定着し、それらを伝える多くの文化財がある。



④ 多良海道と竹崎街道及び島原街道にみる江戸時代のおもかげ

長崎から佐賀まで続く多良海道（竹崎街道）と島原へ続く橘湾沿いの島原街道が歴史文化を育んだ。竹崎街道は自然発生の海沿いの道で老人や女性と子供、荷物のある人などが利用した。人と物が街道を往来すると文化が行き交った。多良海道と竹崎街道、島原街道には、江戸時代をしのばせる場所が多くある。



⑤ 多良岳山岳霊場と山麓の文化財からみた諫早の信仰

山岳霊場の1つ多良岳を中心として日本古来の信仰が現在まで継続している。金泉寺は、平安時代初めに弘法大師が創建したといわれるお寺である。周辺には修験に関わる霊場遺跡が点在しており、登山しながら歴史を楽しむことができる。



⑥ 本明川沿いに遺る江戸時代の街道

本明川沿いに栄えた永昌宿跡や天祐寺の諫早家歴代領主の墓など、数多くの社寺が点在し、江戸時代の街道の痕跡が遺った。高城跡がある諫早公園は、国の天然記念物である諫早市城山暖地性樹叢の自然と移設された諫早眼鏡橋があるほか四季折々の自然の色彩を楽しめる観光地となっている。



⑦ 肥前浮立 諫早のまつりびと

佐賀藩諫早領に江戸時代から伝わる浮立は五穀豊穰、雨乞い、除災、供養のために各地域の神社などへ奉納されてきた。300年以上経った現在でも多くの浮立が形を変えながら、地域の方々の努力により伝承されてる。



関連文化財群としてまとめることで、文化財を総合的に保存・活用することができ、個々の文化財だけでは理解しにくい本市の歴史文化の特徴を具体的に市民に伝えることができる。市民が地域の魅力に気づき、身近な文化財や地域に対する愛着を育むことが期待できる。

関連文化財群① 有明海の干満の差と諫早人のいとなみ

関連文化財群に関する課題及び方針と必要な事業

【ストーリー】

諫早は有明海の日本一の干満の差を活かし、近世から現在まで干拓地を広げてきました。長崎県で一番の穀倉地帯となるまでの歴史は、祖先の努力と慈善の精神の賜物です。

【課題①】

有明海の干拓地は、長い時代に徐々に広がったものです。それぞれの時期に最前線で築造された堤防の痕跡が今も遺っており、その存在を示す案内表示や説明板などが必要です。

【方針①】

長い時間をかけた干拓の経緯を示す痕跡を調査して、それらに関する案内表示や説明板を設置するように努めます。



多良岳堤防道路と干拓地

関連文化財群② 有明海沿岸及び橘湾沿岸の古墳の被葬者像

関連文化財群に関する課題及び方針と必要な事業

【ストーリー】

有明海と橘湾沿岸には古墳が築造され、地域の首長が葬られています。これらの古墳は稲作などの生活基盤がみられず、有明海の海民集団の首長墓と思われる、6世紀前半に海と関りながら生活していた古墳時代人を知ることができます。

【課題①】

市内に所在する古墳は、いずれも墳丘や石室の詳細な規模が不明です。時代や各古墳の間にある時期差などが判明していないため調査が必要です。また、そのような古墳が身近にあるということを知らない人が多くいます。

【方針①】

市内に所在する古墳の墳丘の詳細な規模や石室を確認するために調査を行い、有明海沿岸と橘湾沿岸とに分布する古墳の性格の違いや、他地域に存在する古墳との時期差などを明らかにし、古墳の歴史的な情報を市民へ提供します。

No1：市内古墳詳細調査公開事業

■ 行政、専門家、所有者 ■ R9～11

諫早市内に所在する古墳の規模や構造を明らかにするために、測量調査及び保存目的発掘調査を行い、その成果を公開し、発掘調査報告書の作成と成果を展示する体験学習会を実施し、身近にある古墳の存在を周知する。



長戸鬼塚古墳

関連文化財群に関する課題及び方針と必要な事業

【ストーリー】平安時代から交通の要衝として交流による歴史文化が継承され、江戸時代には陸路と海路の交差点にあたる本明川に諫早眼鏡橋が架けられた。また、地の利を生かし、それぞれの時代を代表する新しい信仰や技術が定着し、それらを伝える多くの文化財がある。

【課題①】 長崎街道の周辺には、室町時代から戦国時代に築かれた山城が50箇所あるが、それぞれ規模や構造などが不明で、基本的な情報がない。中心となる高城跡や規模の大きな古田城跡など特徴的な山城があり、それらの詳細な構造を考古学的に調査する必要がある。

【課題②】 長崎街道と多良海道は、詳細な調査が行われ、周辺の文化財について分布や内容の把握調査が行われているが、橘湾岸沿いにある島原街道の周辺での把握調査が必要。

【課題③】 これまで、長崎街道や多良海道は、関係する近隣市町とともに街道を活かしたウォーキングイベントや講演会の開催など、観光交流人口拡大を目的とした取り組みを実施してきた。このような取り組みは、今後も継続的に実施する必要がある。

【方針①】 山城の把握調査を行い、それぞれの規模や構造などの基本情報を整理する。また、規模が大きな高城跡や古田城跡など特徴的な山城を選定し、測量調査や発掘調査を実施し、詳細な構造を明らかにする。

【方針②】 歴史の道について、島原街道の把握調査を行う。

【方針③】 歴史の道百選に選定されている長崎街道は、大渡野番所跡（日野番所）の保存と、街道全体と大村藩との境界にある藩境石塚の保全を図り、風観岳支石墓群との一体的な公開活用を推進する。

No1：諫早市内山城の分布作成と詳細調査事業 ■行政、専門家 ■R10～11
50箇所の山城跡の現状を把握し、規模や構造を把握するために調査を実施し、成果を公開し周知を図る。

No2：歴史の道（島原街道）総合調査事業 ■行政、専門家、所有者、市民 ■R10～11
橘湾沿岸にある島原街道の規模や構造を明らかにするために、把握調査を行い、調査報告書の作成と成果を展示する体験学習会を実施し、身近にある遺跡の存在を周知する。

No3：風観岳支石墓群と長崎街道の公開活用事業 ■行政、専門家、所有者、市民 ■R10～11
「風観岳支石墓群」と歴史の道百選の「長崎街道」について街道歩きなどを行い、公開周知を行う。



長崎街道（大村街道）



多良海道

関連文化財群④ 多良海道と竹崎街道及び島原街道にみる戸時代のおもかげ

関連文化財群に関する課題及び方針と必要な事業

【ストーリー】

長崎から佐賀まで続く多良海道（竹崎街道）と島原へ続く橘湾沿いの島原街道が歴史文化を育みました。竹崎街道は自然発生の海沿いの道で老人や女性と子供、荷物のある人などが利用しました。人と物が街道を往来すると文化が行き交います。多良海道と竹崎街道、島原街道には、江戸時代をしのぼせる場所が多くあります。

【課題①】

多良海道と竹崎街道は、佐賀県藤津郡太良町と歴史の道観光文化交流推進協議会において、観光活用を図る事業を行っています。しかし、市外からの観光を目的とした交流人口の拡大を期待できるような事業ははまだ創出していません。

【方針①】

今後も、市外からの観光交流人口の拡大につながるような取り組みの模索を継続します。



多良海道

関連文化財群⑤ 多良岳山岳霊場と山麓の文化財からみた諫早の信仰

関連文化財群に関する課題及び方針と必要な事業

【ストーリー】

山岳霊場の1つ多良岳を中心として日本古来の信仰が現在まで継続しています。金泉寺は、平安時代初めに弘法大師が創建したといわれるお寺です。周辺には修験に関わる霊場遺跡が点在しており、登山しながら歴史を楽しむことができます。

【課題①】

平安時代から知られている山岳霊場である多良岳について、信仰に関する遺跡の分布の様相や現状の把握調査を行い、時代性などの価値づけに関する情報の蓄積が必要です。
また、その存在や山の歴史が市民などに知られていません。

【方針①】

多良岳金泉寺周辺から轟峡までの間に存在する信仰に関する遺跡の分布の様相や現状の把握調査を行い、多良岳山岳霊場の信仰に関する時代性や平面的な分布についての情報を把握し、その成果を展示公開し市民らに周知します。

No1：多良岳の山岳霊場遺跡の総合調査事業

■行政、専門家、所有者 ■R9～11

多良岳金泉寺周辺に所在する多良岳信仰の痕跡を残した山岳霊場遺跡について文献史を含めた考古学調査を行う。

※ 55 頁の No44 の事業です。



金泉寺の木造不動三尊像

関連文化財群⑥ 本明川沿いに遺る江戸時代の街道

関連文化財群に関する課題及び方針と必要な事業

【ストーリー】

本明川沿いに栄えた永昌宿跡や天祐寺の諫早家歴代領主の墓など、数多くの社寺が点在し、江戸時代の街道の痕跡が遺ります。高城跡がある諫早公園は、国の天然記念物である諫早市城山暖地性樹叢の自然と移設された諫早眼鏡橋があるほか四季折々の自然の色彩を楽しめる観光地となっています。

【課題①】

眼鏡橋周辺には遺跡（史跡）や社寺が多くあり、江戸時代のおもかげが多く遺っていますが、あまり知られていないため、公民館講座や美術・歴史館の体験事業で、江戸時代から伝わる文化財の周知を図る必要があります。

【方針①】

眼鏡橋周辺の遺跡（史跡）や社寺を紹介した「諫早史跡散策マップ」を作成し、街歩きイベントなどに活用し、社寺等が多いことを体験してもらうことにより、歴史がよく遺るまちであることを市民と来訪者へアピールします。

No1：「諫早史跡散策マップ」を利用した体験学習事業

■行政、専門家、所有者、市民 ■R9～11

眼鏡橋周辺の史跡や社寺を紹介した「諫早史跡散策マップ」を更新増刷し、街歩きイベントなどに活用し、社寺等が多いことを体験してもらい、歴史がよく遺るまちであることを市民と来訪者へアピールします。

※ 57 頁の No65 の事業です。



本明川と諫早市城山暖地性樹叢



諫早市城山暖地性樹叢

関連文化財群⑦ 肥前浮立 諫早のまつりびと

関連文化財群に関する課題及び方針と必要な事業

【ストーリー】

佐賀藩諫早領に江戸時代から伝わる浮立は五穀豊穡、雨乞い、除災、供養のために各地域の神社などへ奉納されてきました。300年以上経った現在でも多くの浮立が形を変えながら、地域の方々の努力により伝承されています。

【課題①】

江戸時代から伝わる肥前浮立が市内の自治会などを単位として継承されていますが、少子高齢化により、継承が困難な場合が生じています。

【方針①】

浮立の保存を行うために、映像による記録を作成するなどして、一度、途絶えても復活できるようにするノウハウや文化庁の補助事業をそれぞれの団体へ紹介するように努めます。



田結浮立 月の輪